

# 香川の教育をよくする県民会議 総会 開催

## 憲法9条と25条は平和主義の「両輪」

### 香川教育

発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
kakyoso@kakyoso.com  
香川県教職員組合

定価 1部50円 1月100円  
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ  
http://kakyoso.com/

支部長書記長会  
10月21日(金)  
19:00～  
香教組会館2F  
で行います。

10月2日(日)香川大学教育学部で、「香川の教育をよくする県民会議」総会が開催されました。太田会長(おたの小児科アレルギー科クリニック院長)は、あいさつの中で「最近、憲法を読み直すことが多くなりました。人権的にも平和主義的にも優れているこの憲法が今変えられようとしていることに危機感を強く感じる・みんなで行動しましょう」と訴えました。



挨拶をする太田会長

**会長** 今(現行憲法のもと)でも、社会の動きはひどいのに、条文まで変えようとしています。これ以上ひどくしようとしているのは止めなければなりません。

福島にボランティアに行った青年が日中戦争のことやそこで起こったことを「全く知らない」と言ったことに愕然としました。「知ろうとすること」「知らせていくこと」が今一番大切です。黙ってれば、大変なことになります。「教育署名」は、その中でも大切な取り組みです。一緒に声を上げていきましょう。

**参加者** 教科書の採択に大変危機感を感じています。もっと、県民に感心をもってもらいたいが、教科書

### ジャーナリスト 布施祐仁さん講演



熱く語る講師布施さんと熱心に話を聞いている参加者

**参加者** よくする会」も先日、会議をもち、子どもたちのために「声を上げていこう」と話し合ったところでした。

「三豊の教育を」の展示会場や展示時間が気軽にける状況になっていません。行政に「開かれた展示」をするように運動を強める必要があると思います。

「日本でも「経済的徴兵制」がある。自衛隊発足当時から「経済的徴兵制」はあった。自衛官の出身地分布と所得平均とは「密接な関係」がある。自衛隊の勧誘も「愛国心や国防意識には期待できない以上、経済的メリットで集めるしかない」と自衛隊は言及。大卒でも安定した正規雇用につけない現実があり、奨学金返済のために任期制隊員になる大卒者が近年増加して

### テーマ「戦地に送られるのは誰か～経済的徴兵制と教育～」

米軍に入隊し、一定の任期を終えれば奨学金が支給され進学できる。つまり、徴兵制を敷かなくても貧困や社会福祉の不備が兵士を集めることができる社会になっている。「経済的徴兵制」と呼ばれている。アフガン・イラク戦争後、志願者が減ったため、軍奨学金制度を充実させ、学費に加え、住宅や教科書代まで拡大し家族も対象となった。「落ちこぼれゼロ法」や「JROTC」で軍が学校へのアクセスも強化している。

「アメリカの経済的徴兵制の実態」米軍兵士の志願理由の上位は「大学進学(奨学金)」「医療」「モンゴメリーG.I.ビル」という制度が導入され、お金がなくても進学できるようになった。米軍に入隊し、一定の任期を終えれば奨学金が支給され進学できる。つまり、徴兵制を敷かなくても貧困や社会福祉の不備が兵士を集めることができる社会になっている。「経済的徴兵制」と呼ばれている。アフガン・イラク戦争後、志願者が減ったため、軍奨学金制度を充実させ、学費に加え、住宅や教科書代まで拡大し家族も対象となった。「落ちこぼれゼロ法」や「JROTC」で軍が学校へのアクセスも強化している。

「教育そのものへの介入も」職場体験(体験入学)や防災教育の一環で自衛隊が活用されている。学校教育における安全保障教育の「必修化」案も出ている。教育基本法「改正」で「個人の尊厳」「人格の形成」に加わった「公共の精神を尊び、国家社会の形成に主体的に参画する国民」は国策遂行のための人材育成に変わろうとしている。「経済的徴兵制 何が問題か」安保関連法で「経済的徴兵制」の意味合いが変わる。学ぶことができる「チャンス」の先に、戦地派遣のリスクを伴う。海外派遣拡大の目的が、いつの間にか「国際貢献」から「国益追求」「権益確保」に変わっている。「金持ちが起す戦争で貧乏人が死ぬ」が現実味を帯びてきた。充実した給付型奨学金制度は、戦争を止める力にもなる。憲法9条と25条は平和主義の両輪。自衛隊の勧誘で大きな壁は「高等学校教職員組合」との自衛隊内部での話がある。歴史の中で自衛隊を認めてきた。しかし今、自衛隊の存在意味が変わってきている。それに歯止めをかけるためにも、教育の力は大きい。社会の動きに感心を持たねばならない。

「アメリカの経済的徴兵制の実態」米軍兵士の志願理由の上位は「大学進学(奨学金)」「医療」「モンゴメリーG.I.ビル」という制度が導入され、お金がなくても進学できるようになった。米軍に入隊し、一定の任期を終えれば奨学金が支給され進学できる。つまり、徴兵制を敷かなくても貧困や社会福祉の不備が兵士を集めることができる社会になっている。「経済的徴兵制」と呼ばれている。アフガン・イラク戦争後、志願者が減ったため、軍奨学金制度を充実させ、学費に加え、住宅や教科書代まで拡大し家族も対象となった。「落ちこぼれゼロ法」や「JROTC」で軍が学校へのアクセスも強化している。

「教育そのものへの介入も」職場体験(体験入学)や防災教育の一環で自衛隊が活用されている。学校教育における安全保障教育の「必修化」案も出ている。教育基本法「改正」で「個人の尊厳」「人格の形成」に加わった「公共の精神を尊び、国家社会の形成に主体的に参画する国民」は国策遂行のための人材育成に変わろうとしている。「経済的徴兵制 何が問題か」安保関連法で「経済的徴兵制」の意味合いが変わる。学ぶことができる「チャンス」の先に、戦地派遣のリスクを伴う。海外派遣拡大の目的が、いつの間にか「国際貢献」から「国益追求」「権益確保」に変わっている。「金持ちが起す戦争で貧乏人が死ぬ」が現実味を帯びてきた。充実した給付型奨学金制度は、戦争を止める力にもなる。憲法9条と25条は平和主義の両輪。自衛隊の勧誘で大きな壁は「高等学校教職員組合」との自衛隊内部での話がある。歴史の中で自衛隊を認めてきた。しかし今、自衛隊の存在意味が変わってきている。それに歯止めをかけるためにも、教育の力は大きい。社会の動きに感心を持たねばならない。

**小黑板** 香川県教委が進めている「業務改善プラン」第1期が終わり、2016年度から第2期が始まっている。第1期は「一定の成果をみた」と県教委。▼現場では「長時間過密労働が改善されたとは思えない」の声。職場で理由を聞いてみた。「中学校の部活」「校務分掌」「小学校の放課後活動」「提出書類」「香小研の研究部」等。▼かつて、転任地での学年主任。すべてが初めて。数ヶ月先の準備などなかなかできない。そんなときは、前任者の○○ファイル。PCデータが頼り▼特に、注意点や申し送りが細かく行間に記載された○○ファイルはたいへんありがたく、それを片手にいや両手に1年間過ごした▼さて、この○○ファイルが個人所有の学校があるらしい。PCデータも共有フォルダではなく、個人フォルダ保存▼それでも、前任校で同じ学年の学年主任をしていればまだ見通しはつく。しかし、世代交代も進み、新任の学年主任も増えてきた▼○○ファイルが今以上に必要なのは、どこか、長時間過密労働に拍車をかけることになる▼一つの目的訪問先で聞いたこの話。この学校だけだろーと思っていたが、次々と同じような話を聞いた▼「情報の共有や細やかな記録と引き継ぎはもはや当たり前だ」と思っていたが、そうではないようだ。学校という組織の問題かそれとも個人の問題か。

「業務改善と情報の共有」有の学校があるらしい。PCデータも共有フォルダではなく、個人フォルダ保存▼それでも、前任校で同じ学年の学年主任をしていればまだ見通しはつく。しかし、世代交代も進み、新任の学年主任も増えてきた▼○○ファイルが今以上に必要なのは、どこか、長時間過密労働に拍車をかけることになる▼一つの目的訪問先で聞いたこの話。この学校だけだろーと思っていたが、次々と同じような話を聞いた▼「情報の共有や細やかな記録と引き継ぎはもはや当たり前だ」と思っていたが、そうではないようだ。学校という組織の問題かそれとも個人の問題か。



# 4年連続!



## 2017年度も寄宿舎指導員採用試験実施!

10月3日(月)2017年度の寄宿舎指導員正規採用選考試験実施要項が掲載されました。これで4年連続です。

今後も、全国のみなさまにご協力頂いた3227筆(10/5最終提出)の応援に応えることができるよう、寄宿舎指導員の全員正規雇用や待遇改善等を求め運動を展開していきます。

### 香川高教組主催

## ソフトボール大会準優勝!



さあ、やるぞ! 気合いいっぱいの香教組チーム

9月24日(土)25日(日)香教組青年部は、香川高教組主催レクリエーション・ソフトボール大会に参加しました。「高校チームが高校野球秋季大会の雨天延期で試合応援と重なり棄権」という事態にも後押しされ、順調に勝ち進みました。(コールド勝ちするほどのチーム力!)

決勝は、土砂降りの雨のため中止となり、高松東高が優勝(高校組織主催の中四国九州大会出場のため)香教組チームは準優勝となりました。

組合員でない青年教職員のみなさんの友情参加もあり、10数名のメンバーでチームを編成することができました。熟年層の組合員は、「若い力はすごい! いっしょに気持ちも若くなり楽しむことができました。」主将として参加した青年組合員は、「試合だけでなくみんなで練習したり話をしたりする時間がたくさんありました。こういう活動が香教組を知ってもらおうことにつながるんだなあと思いました。ほんとに楽しい時間でした。来年も組合に加入未加入に関係なく多くの方に参加してもらいたいと思いました。」と熱く語っていました。

## 第10回 香川県教育研究集会

### 憲法が生きる教育

すべての子どもたちが笑顔で学べる学校を!

日時 2016年10月23日(日) 9:30~15:30

場所 香川大学教育学部415教室他

- 分科会 第1分科会 「学級づくり」
- 第2分科会 「主権者教育と平和学習」
- 第3分科会 「生徒の自主活動・学校づくり」
- 第4分科会 「特別なニーズを有する子どもたちへの教育」

講演 講師 江利川 春雄氏(和歌山大学教授)  
演題 「協同と平等で全員を伸ばす教育へ  
—— 新学習指導要領を超えて ——」

参加費 無料

どなたでも参加できます。  
みなさんの参加をお待ちしています。

全教共済

# 秋募集

## はじまったよ!

募集期間  
2016年11月30日まで  
火災共済・生命共済・医療共済  
新傷害共済・年金共済

小学3年生のA子さんは頑張り屋さんです。大人から見ると「とってもいい子」です。どんなことにも一生懸命取り組みます。協同学習では、グループリーダーとして活躍しています。強いてちよつと苦手なところといえ、給食。少々偏食がありました。それでも、苦手なものを頑張って食べようとす姿に、一緒に給食を食べかけてくれるので大変満足そうでした。

担任の私は、学年主任ということもあり、クラスを突然空けることが時々あったのですが、そんな時もA子さんは、「先生がいなくてこそ、みんながんばろうよ!」とみんなに声をかけていました。

私は、学級委員にそんなことは求めていませんでした。クラス全体の場では、学級委員の仕事の説明もしていませんでした。でも、ちゃんとA子さんに伝えていなかったことが失敗でした。A子さんのクラスのみんなへの要求はどんどん高くなり、度を越えた強い指導(?)をするよう

A子さんとじっくり話しました。「がんばったらみんなが褒めてくれた。自分を見てくれるとわかって嬉しかった。小さい頃は、先生は私のことなんか見てくれていなかったと思う。先生は、できて当たり前前なんだよね。ふつうだと先生と話はできなかった」とA子さん。3年生の5月のことでした。この後2年間、おちやめなA子さんは、自然体で過ごすことができました。A子さんから「よい子・普通の子」の呼びを聞いたような気がしました。

「シリーズ「子どもとかかわる」⑫  
「よい子・悪い子・普通の子」」

「A子さんと話してよかった。自分を見てくれるとわかって嬉しかった。小さい頃は、先生は私のことなんか見てくれていなかったと思う。先生は、できて当たり前前なんだよね。ふつうだと先生と話はできなかった」とA子さん。3年生の5月のことでした。この後2年間、おちやめなA子さんは、自然体で過ごすことができました。A子さんから「よい子・普通の子」の呼びを聞いたような気がしました。